

安芸太田町第二次安芸太田町長期総合計画第2回審議会 記録

日 時 令和元年5月31日(金)10:00~12:00

場 所 本庁東館2階大集会室

参加者 別紙名簿

1. 開会...伊藤会長あいさつ

2. (1) わたしたちのまちづくりアンケート【一般】... 事務局説明

集計結果について 資料3

「満足度」×「重要度」の分析結果について 資料4

中学生アンケート集計結果(速報値)について 資料5

委員から出た主な意見

- ・アンケートの回答人数で若い世代の回答人数が少ない。スマホやPC等で回答できるようにしてはどうか。
- ・町の自然を活用した雇用創出を検討してもらいたい。
- ・アンケートに高校生やその年代を対象にしていないのはなぜか。  
高校生アンケート及び16-18歳へのアンケートは7月に実施する予定としている。
- ・壊すばかりでなぜ改善すること、生み出すことをしないのか。あたらしいものを生み出さないと若い人もかえって来ない。

(2) 施策の検討の方向について ... 事務局説明

・施策の検討の方向 資料6-1

・施策の方向性検討資料 資料6-2

委員から出た主な意見

- ・現在すでにあるものを有効に活用することについても十分に検討していただきたい。
- ・全ての施策を一齐にスタートさせるよりも、内容に応じて時期をずらしてスタートさせることも必要であると考えている。
- ・アンケートの結果に基づいて優先順位をつけて計画を進めていければと思う。
- ・若い方の回答が特に少ない。高齢者の回答率が比較的高い。この結果に基づき、全ての施策を検討するのが果たして良い結果になるのか疑問がある。
- ・住民と役場の意思疎通の低下とあるが、自治振興会は行政の下請けか、というような意見がでている。説明が全くできていないということだと思う。
- ・I・Uターンの家族への支援は手厚いが、もともと町内に住んでいて町内で結婚して住み続けている若者に対してメリットが全然ない。
- ・今の若い人たちが町に興味をもち、将来に向け一緒に取り組んでいける仕組みづくりが重要と感じた。
- ・全ての学校、教育施設における教育レベルの向上、これは必ず必要だと思う。
- ・健康医療福祉、在宅の支援策の検討、療養をするときは、個人情報の守秘義務、これを徹底すべき、個人情報が流れるという声を多々聴く。
- ・住民と役場との意思の疎通の低下、説明がない、これは身をもって実感している。
- ・ワークショップを主宰し、その参加者の意見を取りまとめているので、書類を提出する形で議事録に残してほしい。
- ・伊藤会長のブログで「使う力」の記事があった。共感を得たし広い考え方だと思った。ぜひ事務局の皆さんに伝えていただきたい。
- ・「長期計画を読み解く会」というのを住民で立ち上げ、行政と協働して取り組みたくなるように話し合いをしている。
- ・今までこういった計画を立てる時の手法が、領域ごとの縦列のまとめ方がほとんど。小さい町で計画

を立てる時には、横の連携、領域連携が重要。施策の加工技術、企画技術が問われてくる。

- ・こういった会議に幹部、時間が取れる課長は同席して、熱意を委員や町民へ示すのがいいのではないかな。
- ・安芸太田に産品が少ない。道の駅に行っても農産物も無いというのが現実。指導員、農業大を出た人など技術・知識のある人を活用することを検討してほしい。
- ・林業については、林野庁、県職員との人事交流を含めて情報交流することで、町が活性化していくのではないかな。
- ・いろんな分野から様々なメンバーが来ているので、安芸太田町の課題について腹をわって話ができる機会をいただくとありがたい。
- ・加計高校への支援などアクションを起こせば良い結果が返ってくる。
- ・商工会でも経営発達支援計画の策定を、町と連携して実施している。そういう形を今後も増やしてほしい。
- ・次世代の高速データ通信 5G など IT 技術の発達によりできることがさらに広がる。最新技術を取り入れた長期総合計画が必要ではないかな。
- ・アンケートは小さな町なので全世帯あるいは住民票がある全人口に対してしてはどうか。
- ・施策の検討すべき項目の中に、安芸太田町ならではのものがほしい。
- ・安芸太田町ならではの施策が見えれば、住民参画の意識も高まる
- ・農地が荒れれば集落が崩壊する。農林業を大切に作る計画にしてほしい。
- ・人口減少、働く場所がないという現状を踏まえ、そこから活気づける安芸太田町になってほしい。
- ・アンケートが 20 代、30 代の回答が少ないのが気になる。ある程度各年代が均一に回答してもらおうほうがよいので、アンケート回収方法など工夫して実施してもらいたい。
- ・施策の GOAL を誰がどこでどのように設定するのか？決め方が重要になると思う。ぜひ慎重に検討した方がいい。
- ・ベンチマークの手法をとってはどうか。
- ・法人にたいして意見を聴く機会を設けてほしい。
- ・町内で働く場所として農協も協力していきたい。
- ・若い世代の意見はかなり重要、意見を直接聞く会を開催してみるのも一つの方法ではないかと思う。
- ・前期の結果をもとに後期をつくらないと、せっかく作っても結果がでてないと意味がない計画になってしまう。前期がどうだったかという反省を後期の計画に活かしていれてほしい。

(3) 今後の予定について ... 事務局説明

- ・今後の予定 資料 7
- ・地域懇談会の開催について 資料 8

3. 閉会 (12:00)

## 書面による意見【抜粋】

第2回審議会終了後、委員から下記のようなご意見がありました。

- ・策定ワーキング会議の議事録を公表してほしい
- ・リーディング施策の評価シート（評価と対策）の公表。
- ・アンケート回収率が5年前と比較して低い数字になったことについてどのように受け止めるか
- ・アンケート回答者の60%以上が60代以上であり、ニーズマップが保守的な傾向があるのでは
- ・事業者や専門知識を有する者等にヒアリング調査を行うよう検討する。
- ・前期基本計画の目標・指標(KPI等)の評価を行う
- ・単年ごとの個別施策評価を町民にわかるよう公表すべき。
- ・行政外部をPDCAサイクルに取り入れるべき。住民参加・協働のプロセス設計。

### （定住人口）

- ・ICTを担う専門人材の獲得と育成
- ・自然環境を活かした教育やESDの検討

### （社会基盤）

- ・避難困難者対策

### （生活利便性）

- ・全世帯デジタル化や防災無線の有効活用と、活用基準の明確化
- ・公共交通の「最新技術や様々な仕組みを取り入れ効率化を図る」ための具体的政策

### （雇用・産業）

- ・行政は「グリーンインフラ等の整備など、環境を整えて組織・人材の育成支援」を行い、事業者が「アクティビティ」を考えるべき。
- ・エコツーリズム推進法の認定を目指すべき
- ・文化・自然資源活用チーム組織化の検討（観光庁・文化庁・環境省と文化・自然資源を活用する）
- ・「観光振興基本計画」の長計への位置づけ
- ・農業分野における長期展望・施策
- ・林業分野の予算の取扱いについて検討項目に含めるべき

### （コミュニティ）

- ・マスタープランの検証
- ・様々なコミュニティとの協働や対話を行うための仕組み作り
- ・公民館活動の検討をすべき

### （策定ワーキング会議について）

- ・メンバーが非公開なのはなぜか。
- ・議事録もしくは審議内容・プロセスの可視化
- ・バックカスティングの目標の明確化

### （ワークショップ[地域懇談会]）

- ・専門家ないし詳しい人材への相談をするべき